

R6「学校の教育目標」  
豊かな未来を創り出す生徒の育成

R6 教育課題

・確かな学力及び体力 ・挑戦心や向上心 ・自己肯定感 ・思いやり、礼儀 ・人権を守る実践行動 ・基本的生活習慣

本年度の重点目標

自己肯定感を高め、主体的に学ぶ生徒を育む

学習習慣を身に着けた生徒の育成（知）	他者とのつながりを深める生徒の育成（徳）	活力あふれる生徒の育成（体）
--------------------	----------------------	----------------

何ができるようになるか〔育成する資質・能力〕

<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じて、考えや理由について筋道を立てて説明したり記述したりする力を身につける。</li> <li>○各教科等の見方・考え方を働かせて得た情報を、多面的・多角的に精査し、構造化しながら根拠をもとに考えや理由を表現する。</li> <li>○学びを振り返ることで、自分のものの見方や考え方を広げ、別の場面で生かそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自他の個性や立場を尊重し、様々なものの見方や考え方がることを理解する。</li> <li>○物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えをつくる。</li> <li>○相手の立場や考えを尊重し、自分の考えを主体的に発信しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の健康保持・増進の方法や病気とその予防法についての知識及び技能を身につける。</li> <li>○自分の身体のことを知り、成長や健康保持・増進のために必要なことについて考える。</li> <li>○体力向上、健康保持・増進を積極的に行おうとしている。</li> </ul>
---	--	--

何が身に付いたか〔学習評価〕

<ul style="list-style-type: none"> <li>○小テスト、単元テスト、定期テスト等の解答内容の分析 [知識・技能]</li> <li>○思考力等を問う問題の出題。問題解決過程における観察や発言・学習ノートの内容分析 [思考・判断・表現]</li> <li>○振り返りシート等への記述内容分析、生徒評価等 [主体的に学習に取り組む態度]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活状況アンケートの結果分析</li> <li>○道徳等における学習プリントや道徳アンケートの記述内容</li> <li>○学習や集会等での発表状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力テストの結果分析等</li> <li>○学習プリントの記述内容等</li> <li>○体力アップシートの記述内容、部活動の参加状況の把握、外遊びや体育館使用の状況等</li> </ul>
--	---	---

何を学ぶか〔本年度の重点の指導内容〕

どのように学ぶか〔本年度の重点の指導方法・体制の工夫〕

1 教科横断的な視点に立った資質・能力  
各教科等での汎用的な力を育むために、各教科等で重点単元を設定し、教科等の内容を、単元間や学年間、教科間でつなぐ。  
(1) 学習の基盤となる資質・能力  
○総合的な学習の時間を核とし、探求的な学習において、各教科等で身に付けた資質・能力を活用しながら、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現について学ぶ。  
(2) 現代的な課題に対応して求められる資質・能力  
○特別の教科道徳の時間を中心に、教育活動全体で、自らを律しつつ他者と共に協調し、他人を思いやる心について学ぶ。  
○フロンティアプランに基づいたキャリア教育において、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を身につける。

2 教科等の重点の指導  
○全教科等  
様々な問題状況から課題を見つけ、解決に向けて既有的知識や情報と関係付けながら、根拠や理由を明確にした表現等について学ぶ。  
○各教科  
※各教科で重点化して指導を行う単元や領域を決める。

・国語科	1年「少年の日の思い出」2年「走れメロス」3年「故郷」
・社会科	1年「世界各地の人々の生活と環境」2年「近世の日本」3年「地方自治と住民参加」
・数学科	1年「変化と対応」2年「図形の性質と証明」3年「図形と相似」
・理科	1年「光の性質」2年「化学変化と物質の質量」3年「化学変化と物質の質量」
・外国語科	1年 P5「Junior Safety Patrol」2年 P8「A Hope for Lasting Peace」3年 P5「The Story of chocolate」
・音楽科	1年「リズムアンサンブルを楽しもう」2年3年「曲のよさをプレゼンしよう」
・美術科	1年「花の生命」2年「名画の魅力に迫る」3年「ゲルニカは語る」
・保健体育科	1年「マット運動」2年球技「バスケットボール」3年球技「ソフトボール」
・技術科	1年「製品の設計・製作」2年「電気回路の設計・製作」3年「プログラム制作」
・家庭科	1年「衣服の選択と手入れ」2年「日常食の献立と食品の選び方」
	3年「幼児の生活と家族」

○特別の教科 道徳  
全学年で重点的に取り組む内容項目  
各学年の課題に応じて重点的に取り組む内容項目  
C-(10) 尊法精神・公德心 D-(19) 生命の尊さ  
1年 A-(1) 自主・自立 自由と責任  
2年 A-(3) 向上心 個性の伸長  
3年 C-(11) 公正・公平 社会正義  
○特別活動・学級活動  
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成  
ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応  
○総合的な学習の時間  
探究的な見方、考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的で体験的学習において、各教科で学んだ情報収集や整理・分析の資質・能力を活かす。  
※全学年でキャリア教育の視点を位置づけた学習を行う。

◇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
●「問いや見通しを持つ活動」「考えをつくる活動」「考えを再構築する交流活動」「学びを振り返る活動」の4つの活動を組み合わせた活動構成の工夫を行う。  
(2) 言語環境の整備と言語活動の充実  
●全教科…「三輪スタンダード」を用いた授業づくりを行い、特に「問いや見通しを持つ活動」「学びを振り返る活動」において、自分の考えを根拠をもとに記述する活動を位置づける。  
●国語科…文章を読んで理解したことと自分の知識・経験を関連づけて、自分の考えを広げ表現する活動を位置づける。  
●社会科…社会的事象について既習の学習内容と関連づけ、課題を把握し、その解決に向けて多面的・多角的に考察する活動を位置づける。  
●数学科…事象の特徴や本質を捉え、既習の知識および技能を関連付けながら、多面的、批判的に考える活動を位置づける。  
●理科…問題を解決する過程において、様々な視点を関連付けながら仮説を設定し、科学的に説明する活動を位置づける。  
●外国語科…コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、既習事項を含んで習得した知識を相互に関連づけて、自分の考えを表現する活動を位置づける。  
●音楽科…曲の良さを感じ取り、それを交流し学びを深める活動を位置づける。  
●美術科…表現と鑑賞を関連づけながら考え、創造する活動を位置づける。  
●保健体育科…自己や仲間の課題を見つけ、その解決方法を考え実践し、交流し合う活動を位置づける。  
●技術科…生活や社会における事象を技術的見方・考え方で捉え、最適化を図る活動を位置づける。  
●家庭科…生活事象を自己の生活の営みと関連づけて考え、よりよい生活の実現にむけて、工夫し創造する活動を位置づける。  
●特別の教科 道徳…物事を広い視野活動から多面的・多角的に接し、自己の生き方についての考えを深める交流活動を位置づける。  
●特別活動…自他の個性を理解し、尊重しあう人間関係の構築ができるように、多様な考え方を共有する活動を位置づける。

(3) コンピュータ等や教材・教具の活用  
情報活用能力の育成を育む視点から、次の2つのことを重視する。  
・コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動を計画的に実施し関連させる。  
・各種の統計資料や新聞、視聴覚教材やタブレット端末などの教材・教具の適切な活用を図る。  
(4) 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動  
・各教科の指導にあたって、生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を取り入れる。  
(5) 体験活動  
・各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ、計画的に実施する。  
(6) 課題選択及び自主的、自発的な学習の促進  
・各教科等の指導にあたって、生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の興味・関心を重視した自主的・自発的な学習の場を設定する。  
(7) 学校図書館、地域の公共施設の活用  
・自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館を計画的に利用する。  
・資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実させるため、地域の図書館等の施設を積極的に利用する。

実施するために何が必要か〔指導体制の充実、家庭・地域との連携〕

○生徒理解を基盤とした授業づくりの推進 ○PDCAサイクルの確立 ○外部機関との連携 ○三輪中校区 小中連携した教育の推進